

平成30年度北杜市郷土資料館運営協議会委員委嘱式

日 時 平成30年8月3日（金）午後1時30分～

場 所 北杜市郷土資料館情報室

出席委員 水原康道・島衛一・板山國夫・篠原旭・柴山裕子
大柴久・手塚和義・鈴木今朝和・跡部元（9名）

欠席委員 八巻與志夫・小池勝・氏原宏幸（3名）

事務局 堀内正基教育長・遠藤学術課長・学術課資料館担当 長谷川、小林

1. 委嘱状交付（堀内教育長）
2. 委員の自己紹介及び事務局職員自己紹介
3. 教育長あいさつ

平成30年度第1回北杜市郷土資料館運営協議会会議録

日 時 平成30年8月3日（金）午後1時40分～

場 所 北杜市郷土資料館情報室

出席委員 水原康道・島衛一・板山國夫・篠原旭・柴山裕子
大柴久・手塚和義・鈴木今朝和・跡部元（9名）

欠席委員 八巻與志夫・小池勝・氏原宏幸（3名）

事務局 遠藤学術課長・学術課資料館担当 長谷川、小林

北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開とする。

傍聴人 0 / 10人

1. 開会

遠藤学術課長から、開会を宣す。

2. 会長あいさつ

水原康道会長から、あいさつを述べる。

3. 審議会の公開について

水原康道会長が議長となり、傍聴人がいないことを確認。

4. 会議録署名委員指名

鈴木今朝和委員並びに跡部元委員の2名の指名を行う。

以下議事に入る。

5. 議事

(1) 平成30年度資料館事業について

- ・浅川伯教・巧兄弟資料館の一部展示替えについて

長谷川：「平成30年度資料館事業」及び「浅川伯教・巧兄弟資料館の一部展示替え」について、資料により説明を行う。

議長：質疑または意見を求める。

手塚：展示替えについては、全てを行うといままでのものが失われてしまう恐れがある。現在のものを生かしながら、進めてもらいたい。

長谷川：今回の展示替えは、浅川兄弟の功績をさらに伝えていくため、兄弟が暮らした頃の朝鮮の人々の暮らしをジオラマで再現しているコーナーのみを改修し、兄弟が建設した朝鮮民族美術館についてのコーナーに変更する。

展示全体としては、いまままで大きな変更をするものではなく、これまであまり触れてこなかった朝鮮民族美術館の建設についてとりあげ、伯教・巧兄弟の生涯をより深く展示を行い、その功績を広く伝えていけたらと考えている。

議長：他に質疑または意見はないか。なければ次の議題へ。

(2) 日本遺産認定に伴う資料館事業について

長谷川：「日本遺産認定に伴う資料館事業」について、資料により説明を行う。

議長：質疑または意見を求める。

島：小中学校では、校外学習として近隣の資料館を使わせていただいている。資料館へは、スクールバスでの移動になっている。

小さい子ども向けに、解説を行ってくださるようお願いしたい。

板 山：先日「ふるさと探検隊」へ参加したが、子どもたちが自分の地域のことを知らないことを実感した。まず、地元のことを学ぶことが大切であると思う。

柴 山：縄文について、実際の縄文人はどのように暮らしていたのかと知りたいたと感じた。暮らしぶりなどを知ることで、もっと縄文について、身近に感じられるのではないかと感じた。

長谷川：梅之木遺跡は、みんなで作る縄文村をコンセプトに、先日も竪穴住居の土おろし体験や土器づくり教室を開催した。まだまだ、縄文文化について、わからないことが多いが、そのような体験に基づき、暮らしぶりを感じてもらえたらと考えている。

大 柴：説明のあった日本遺産は、長野県が中心で、また黒曜石を進めていくということか。

長谷川：長野県と山梨県が共同で、八ヶ岳山麓を中心とした縄文文化を申請し、先月には実施機関となる協議会も結成された。今後、協議会で何をしていくか議論していくことになるが、山梨と長野が一体となり、進めていく。

大 柴：先日、郷土研究会で、金生遺跡を訪問したが、整備等もされておらず、どうかしてほしい。先ほど話にも出たように、子どもだけではなく、大人など地域をもっとまきこむことが大事なのではないか。

長谷川：金生遺跡は、今後再整備する話も現在出ている。過去の整備から年数も経っているので、そうできたらと考えている。

跡 部：今回の日本遺産で、ここに高額なお金をつぎこむことが本当に正しいのかと思う。いま予算をつぎこんでも、将来には過去のことになるであって、そのつながりをどう持っていくのかは疑問にも感じる。

鈴 木：日本遺産を観光の一環とするのは、理解が難しい。この峡北地域は県内でも随一の出土等ある場所であり、その地域の者に対して、わかりやすい事業を今後してもらいたいと思う。

手 塚：黒曜石は、長野の諏訪から峡北地域へ移ってきたことも興味深い。

長谷川：今回の文化庁の日本遺産は、観光色が強いものになっているが、まずは地域の人にその魅力を知ってもらうことが大事であるとの委員の意見を今後の事業に反映できるようにしていきたい。

柴 山：日本遺産については、新聞には掲載されたが、まだまだ知っている人は少ないかと思う。例えば、各町にある図書館を利用してみたらどうか。小さいスペースでもいいので、各図書館をまわってパネル展示等で紹介していけたらよいと思う。

議 長：他に質疑または意見はないか。なければ次の議題へ。

(3) その他

議 長：他に質疑または意見はないか。なければ閉会とする。

6. その他

連絡事項として、協議会終了後、現在開催されている企画展の見学をすることと
次回協議会は、10月下旬に開催予定な旨伝えられた。

7. 閉会

水原会長から閉会を告げる

(午後2時50分終了)

平成30年8月3日

会 長 水原 康道
署名委員 鈴木 今朝和
跡部 元
書 記 長谷川、小林